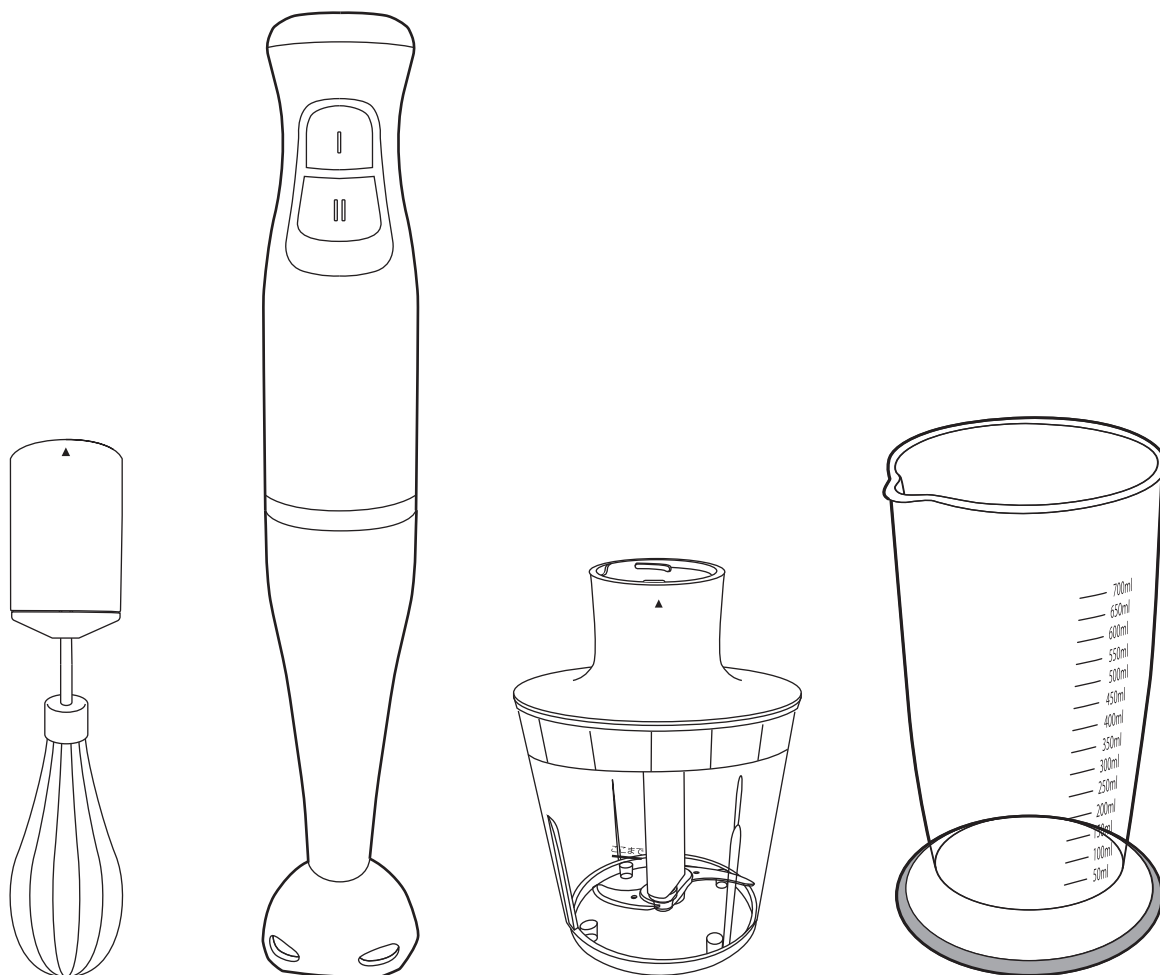


Cook Stick

クックスティック

品番 HM-804



※この製品は日本国内用に設計されておりますので、国外では使用できません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

取扱説明書

保証書付

このたびは、当社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

お読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	1~3
各部の名称	4
ブレンダーのご使用方法	5~6
ホイッパーのご使用方法	7~8
チョッパーのご使用方法	9~10
お手入れの方法	11~12
故障かな?と思ったら	13
アフターサービスについて	14
製品仕様	14

※本書に記載されているイラストはイメージです。




安全上のご注意










ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みいただき、正しくお使いください。

本製品は一般家庭用です。業務用としてや、調理以外の目的に使用しないでください。

警告マークについて

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を下欄のような警告マークで表示しております。このマークは、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を十分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。また、これらのマークを表示している事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

警告マークの種類	警告マークの内容
 危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

マークの具体的例	マークの内容
 +  =  感電注意	△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。マークの中や、隣接する文章に危険・警告・注意行為が描かれています。 (左図は感電注意)
 +  =  分解禁止	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。マークの中や、隣接する文章に具体的な禁止行為が描かれています。(左図は分解禁止)
 +  =  電源プラグをコンセントから抜く	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。マークの中や、隣接する文章に具体的な指示行為が描かれています。 (左図は電源プラグをコンセントから抜く)



電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。



電源コードを傷つけたり、破損するようなことはしない。

傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物をのせる、束ねる等しないでください。コードが傷つくと感電・火災の原因になります。



電源コードやプラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因になります。



定格15A以上のコンセントを単独で使用する。

タコ足配線をするとうコンセント部が異常発熱して発火することがあります。



絶対に分解・修理・改造をしない。

発火・感電・けがの原因になります。



本体・各接続部を水につけたり、水をかけない。

感電・ショートのおそれがあります。



小さな子供だけで使用させない。また、乳幼児のそばで使用したり、手の届くところに置かない。

けが・やけど・感電の原因になります。



電源プラグをぬれた手で抜き差ししない。

感電や故障の原因になります。



回転中のブレンダー刃・チョッパー刃・ホイッパーに指・スプーン・箸などで触れない。

けがの原因になります。



回転中にチョッパーカバーを開けない。
けがの原因になります



自分で操作できない人や取り扱いに不慣れな人だけでの使用はさせない。
けが・やけど・感電の原因になります。



電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で、ブレンダー刃・チョッパー刃・ホイッパーに指・スプーン・箸などで触れない。
けがの原因になります。



調理時には、専用カップなどの容器に指・スプーン・箸などを入れない。
けがや製品の破損のおそれがあります。



交流100V以外では使用しない。
(日本国内100Vのみ)
火災の原因になります。



電源プラグにほこりやごみが付着している場合はよく拭き取ってから使用する。
火災の原因になります。



使用中、電源プラグ・電源コードが異常に熱くなるときは直ちに使用を中止する。



ブレンダーやチョッパーの刃には直接触れない。
けがの原因になります。



電源プラグをコンセントから抜くときは電源コード持たずに電源プラグを持って抜く。
コードを引っ張ると、破損して感電・ショート・火災の原因になります。



以下の異常・故障がある場合は、直ちに使用を中止する。すぐに電源プラグを抜き、点検・修理を依頼する。
火災・感電・けがの原因になります。

- ・ 使用時に異常な音がする
- ・ 本体・各部品が変形していたり、製品の一部に割れ、ゆるみ、たるみ、がたつきがある
- ・ 使用時にいつもより振動が大きい、異常に熱い、こげくさいにおいなどの異常がある
- ・ 製品に触れるとビリビリと感じる
- ・ 上記以外の異常や故障がある

⚠ 注意



使用後、部品の取り外しおよびお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜く。

けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



本体は水洗いしない。また、食器洗浄機などを使用しない。

故障の原因になります。



回転中は持ち運びしない。

けがの原因になります。



定格時間を超えて使用しない。

(ブレンダー/チョッパー：1分、ホイッパー：3分) 定格時間以上の連続使用は、モーターの過熱による故障の原因になります。連続して使用したい場合は一旦運転を停止し、15分以上経って本体が冷めてから使用してください。



専用カップ・ボトルは火にかけたり、電子レンジ・オーブンなどで使用しない。

変形・破損・けがの原因になります。



専用カップ・ボトルに 40℃以上の材料は入れない。

破損してけがの原因になります。



専用カップ・ボトルを冷蔵庫や冷凍庫には入れない。

破損してけがの原因になります。



禁止食材を使用しない。

破損・変形・けがの原因になります。



落としたり、ぶついたりなど強い衝撃を加えない。

破損・変形・故障・けがの原因になります。



カラ運転はしない。

故障の原因になります。



以下のような場所で使用したり、置かない。

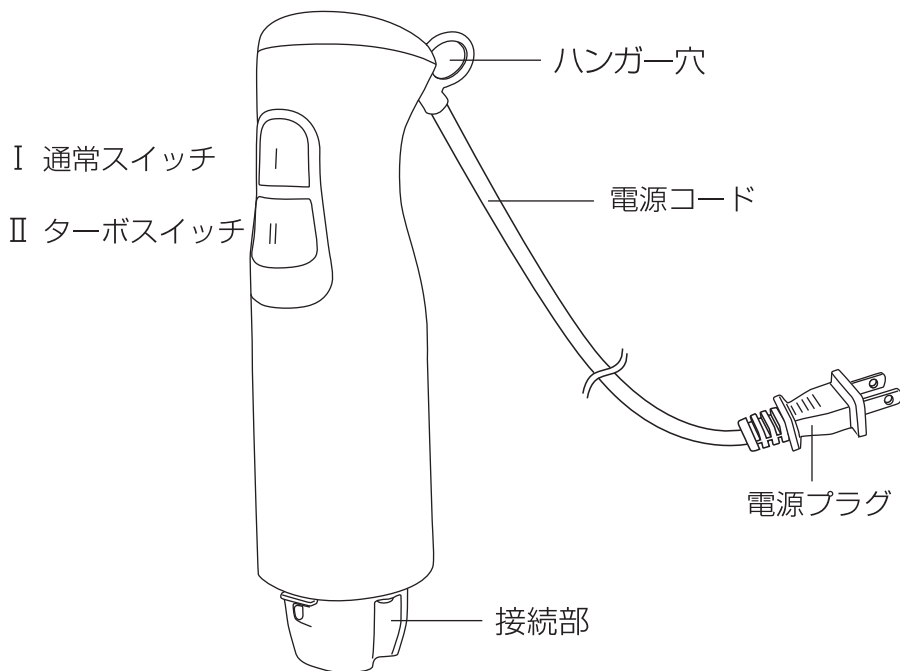
感電・ショート・火災・変形・けがの原因になります。

- ・水や油などのかかりやすい場所
- ・温度・湿度の高い場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・火気付近
- ・カーペット、じゅうたん、ビニール袋などの上
- ・大理石のテーブルの上
- ・テーブルの端や不安定な場所

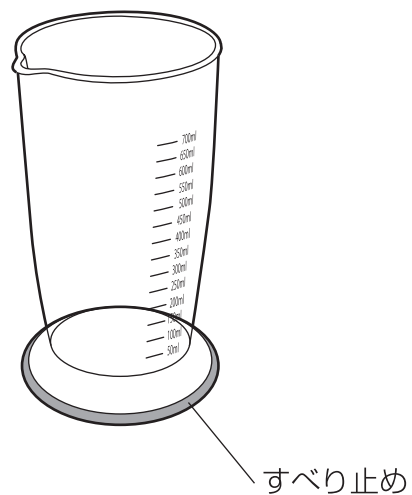
各部の名称

ご使用前に、すべての部品がそろっていることをご確認ください。

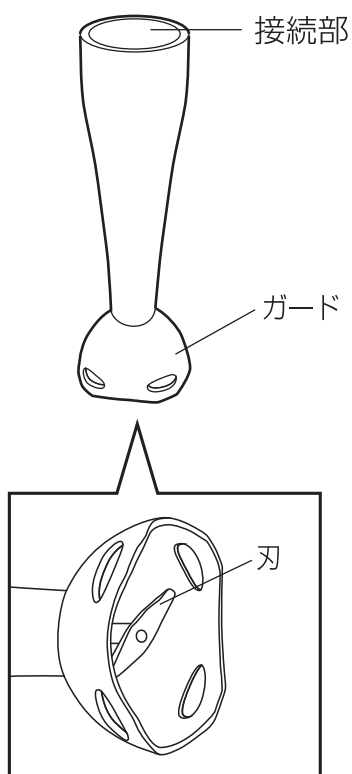
本体



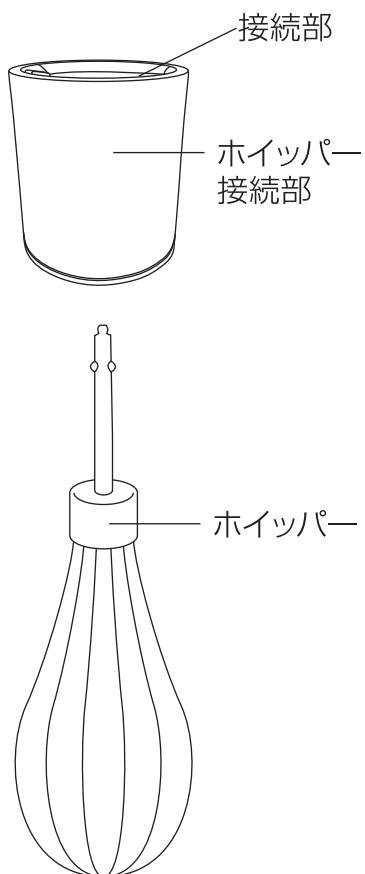
専用カップ



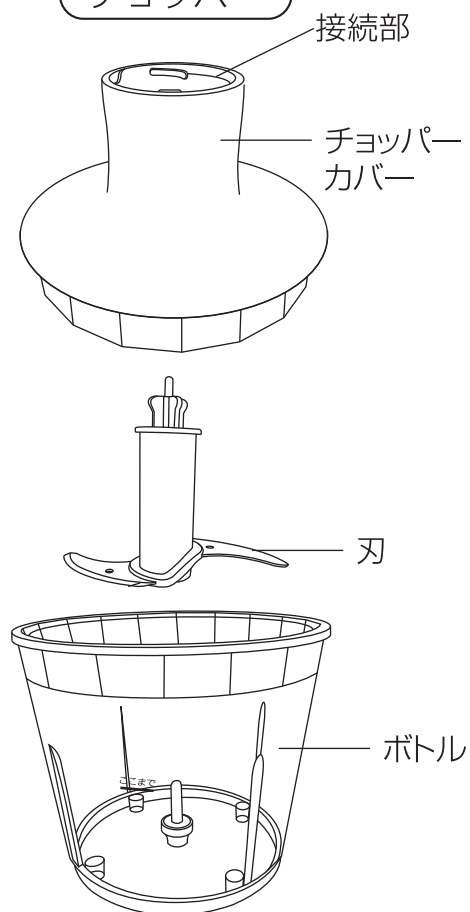
ブレンダー



ホイッパー



チョッパー



ブレンダーのご使用方法

※初めてお使いになるときやしばらくご使用されなかったときは、本体以外の各部品を洗ってからご使用ください。(11～12ページ参照)

⚠ 注意

- 使用時以外は必ず電源プラグを抜いておく。
- ブレンダーの刃はとても鋭利なため、直接手で触れない。
- 定格時間を超えて使用しない。(定格時間：1分)定格時間以上の連続使用は、モーターの過熱による故障の原因になります。連続して使用したい場合は一旦運転を停止し、15分以上経って本体が冷めてから使用してください。
- 加熱調理中の鍋の中では使用しない。一旦火から下ろし、冷ましてから作業してください。

ブレンダー禁止食材

- ・氷や冷凍フルーツ、冷凍野菜
- ・肉類、魚類
- ・粘り気のあるもの(里芋など)
- ・ナッツ類・コーヒー豆
- ・乾物(だし昆布・煮干など)
- ・水分の少ないもの(ゆでたいも類・人参など)

材料の下ごしらえについて

- ・固い皮、種、芯は取り除く
 - ・熱い食材は40℃くらいまで冷ます。
 - ・食材は小さく切ってから入れる。
- かたい材料：1cm角
やわらかい材料：2～3cm角

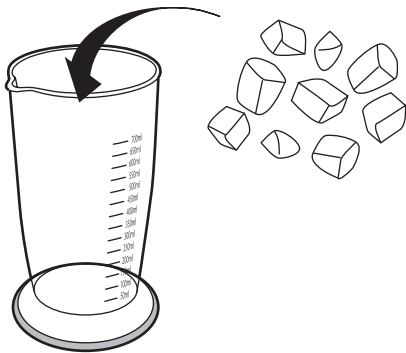
使用できる容器について

- 専用カップ
 - 金属製容器
 - プラスチック製容器
 - ✕ ガラス製容器
 - ✕ 陶器・磁器製などの割れやすい容器
- ※金属製の食器などは食器表面に傷が付くおそれがあります。ご注意ください。

1 食材を専用カップなどに入れる

材料を下ごしらえ(上記参照)し、専用カップなどに入れてください。

※専用カップ以外を使用する場合は上記の「使用できる容器について」を参照してください。



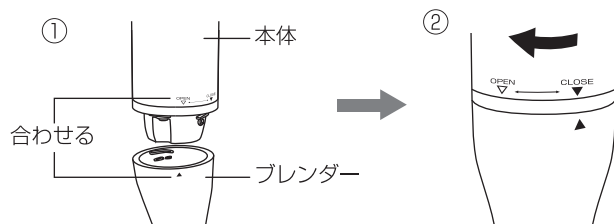
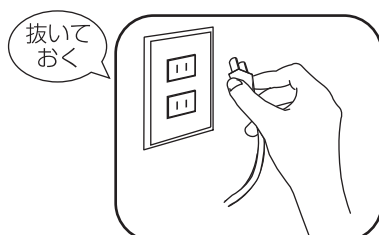
専用カップに入れられる食材の目安量

- 液体を入れた場合
ブレンダーを専用カップに入れたとき、液面を左図の点線範囲内にしてください。(目盛目安は100～400mlです。)
- 固形物を入れた場合
食材やレシピに合わせた量を入れてください。
※入れすぎると飛び散るおそれがあります。

2 本体にブレンダーをセットする

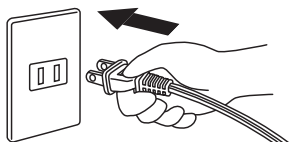
※電源プラグがコンセントからはずれていることを確認してからセットしてください。

- ①本体の「OPEN▽」とブレンダーの▲を合わせてはめ、
- ②本体を矢印の方向に止まるまで回して取り付けます。本体の「CLOSE▼」とブレンダーの▲が合うまでしっかり回してください。図②のように合えばセット完了です。



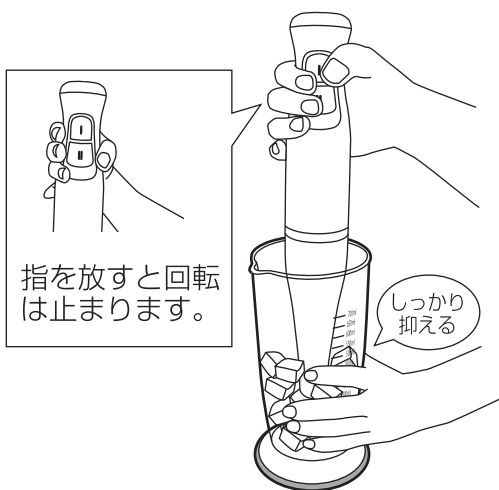
3 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込みます。



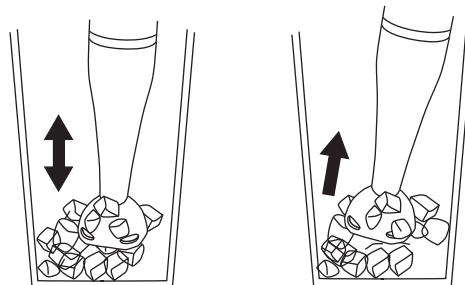
4 容器の中にブレンダーを入れて、スイッチを入れる

ブレンダーを材料にしっかり押し当てながら、通常またはターボスイッチを押します。スイッチを押し続けている間はブレンダーの刃が回転します。ターボスイッチは通常スイッチと同時に押しでも単独でも作動します。材料がお好みの状態になったら、ブレンダーを容器に入れたままスイッチから指を放してください。回転は止まります。



●固形物の場合

- ①小刻みに上下に動かします。
- ②前後左右に動かして、すみずみまで混ぜてください。



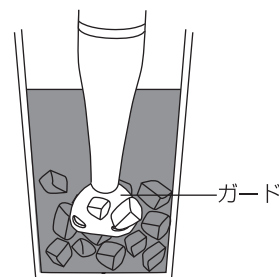
※ブレンダーが容器の底に吸い付いたときは、一旦運転を止めると離れます。

●液体の場合

ガードが液面より上に出ないようにしてください。

材料が飛び散ることがあります。

※熱い材料の場合は飛び散りによるやけどのおそれがあります。あらかじめ熱を取ってから使用してください。

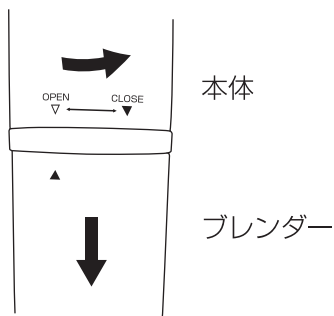
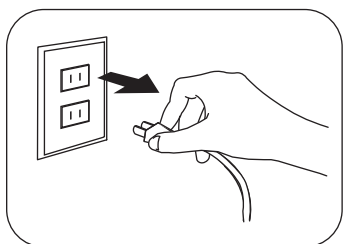


△ 注意

使用中に回転が止まったら、まず電源プラグを抜き、刃に材料がはさまっていないか確認をしてください。刃についた食材を取るときは、必ず箸などを使ってください。

5 電源プラグを抜き、本体からブレンダーを取りはずす

作業後は、刃の回転が止まったことを確認してから本体を持ち上げてください。電源プラグをコンセントから抜き、取り付けと逆の手順でブレンダーを本体から取りはずしてください。※ブレンダーを取りはずすときは、刃に触れないよう十分注意してください。



ホイッパーのご使用方法

※初めてお使いになるときや、しばらくご使用されなかったときは、本体以外の各部品を洗ってからご使用ください。(11～12ページ参照)

⚠ 注意

- 使用時以外は必ず電源プラグを抜いておく。
- 定格時間を超えて使用しない。(定格時間：3分) 定格時間以上の連続使用は、モーターの過熱による故障の原因になります。連続して使用したい場合は一旦運転を停止し、15分以上経って本体が冷めてから使用してからてください。

ホイッパー禁止食材

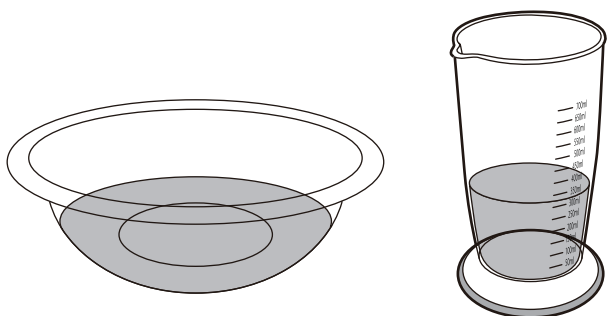
- ・粘り気のあるもの
- ・バターやクリームチーズなどを混ぜた液体
- ・パン・ピザなどの生地づくりの材料
- ・全卵の泡立てはできません。

材料の下ごしらえについて

- ・生クリーム・卵白は冷蔵庫で冷やしておく。
- ・ホイッパーや容器はしっかり乾かす。
※水分や油分が付着していると泡立てにくくなります。

1 材料を専用カップなどに入れる

材料を専用カップやボウルなどに入れてください。



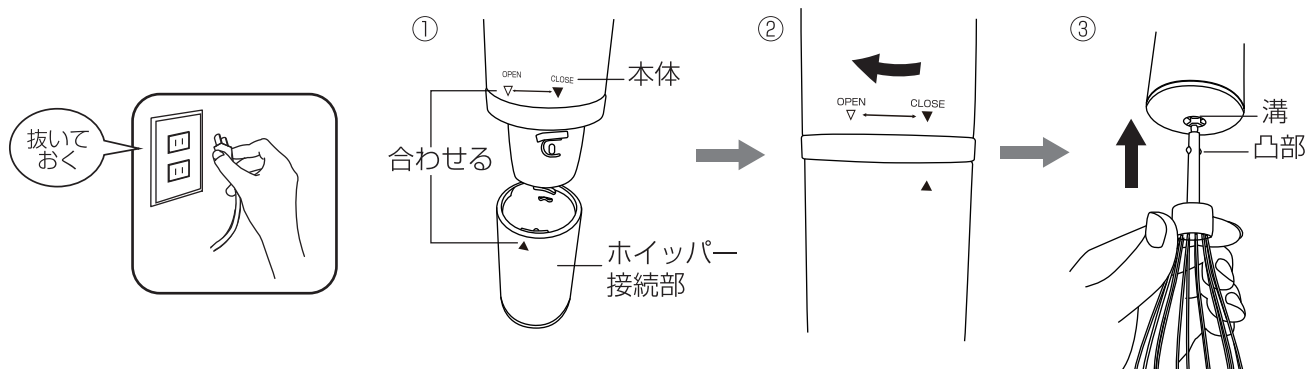
専用カップでの目安

- ・材料の量はカップの半分以下にしてください。
- ・○部分は液体に浸さないでください。

2 本体にホイッパー接続部をセットする

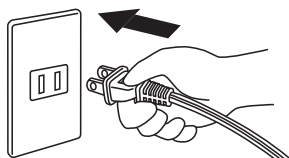
※電源プラグがコンセントからはずれていることを確認してからセットしてください。

- ①本体の「OPEN▽」とホイッパー接続部の▲を合わせ、
- ②本体を矢印の方向に止まるまで回して取り付けます。本体の「CLOSE▼」とホイッパー接続部の▲が合うまでしっかり回してください。
- ③ホイッパーをホイッパー接続部の穴に差し込みます。(ホイッパー接続部の溝とホイッパーの凸部を合わせて、カチッと止まるまでしっかり差し込みます)



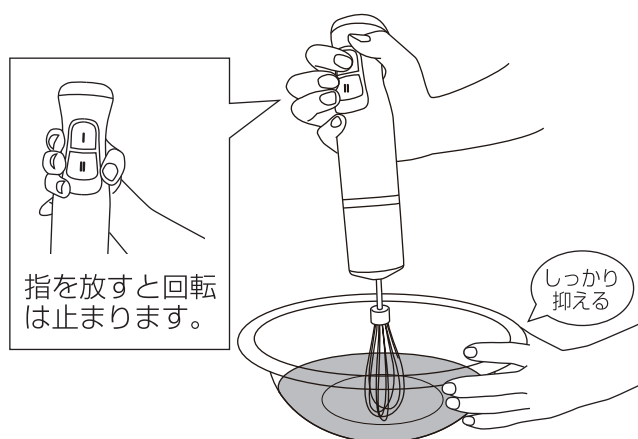
3 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込みます。



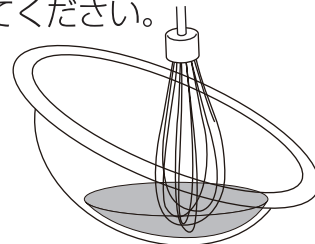
4 容器の中にホイッパーを入れて、スイッチを入れる

容器の中にホイッパーを入れてから、通常またはターボスイッチを押します。スイッチを押し続けている間はホイッパーが回転します。ターボスイッチは通常スイッチと同時に押ししても単独でも作動します。材料がお好みの状態になったら、ホイッパーを容器に入れたままスイッチから指を放してください。回転は止まります。



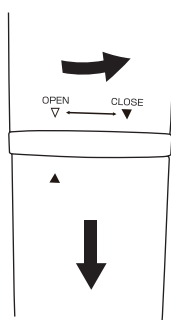
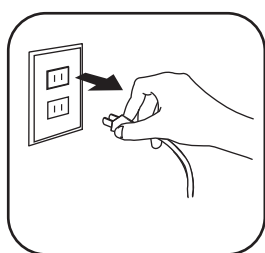
△注意

- ・ 本体をななめにすると、材料が飛び散ることがあります
- ・ 材料が少ないときは、容器を傾けてください。



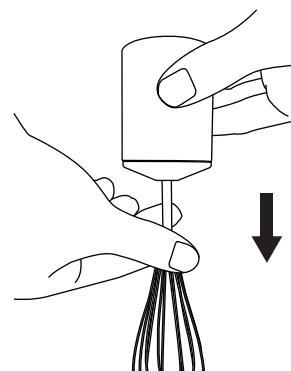
5 電源プラグを抜き、本体からホイッパーを取りはずす

作業後は、回転が止まったことを確認してから本体を持ち上げてください。電源プラグをコンセントから抜き、取り付けと逆の手順で本体からはずし、ホイッパーをホイッパー接続部から抜いてください。



本体

ホイッパー
接続部



チョッパーのご使用方法

※初めてお使いになるときや、しばらくご使用されなかったときは、本体以外の各部品を洗ってからご使用ください。(11～12ページ参照)

⚠ 注意

- 使用時以外は必ず電源プラグを抜いておく。
- チョッパーの刃はとても鋭利なため、直接手で触れない。
- 回転中に本体を持ち上げたり、チョッパーカバーを開けない。
- 定格時間を超えて使用しない。(定格時間：1分) 定格時間以上の連続使用は、モーターの過熱による故障の原因になります。連続して使用したい場合は一旦運転を停止し、15分以上経って本体が冷めてから使用してください。

チョッパー禁止食材

- ・氷や冷凍フルーツ、冷凍野菜
- ・粘り気のあるもの(里芋など)
- ・水分の多いもの(果物など)
- ・ナッツ類・コーヒー豆

材料の下ごしらえについて

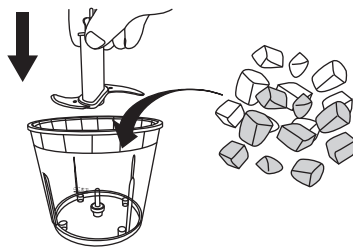
- ・固い皮・種・芯は取り除く
 - ・熱い食材は40℃くらいまで冷やす。
 - ・食材は小さく切ってから入れる。
- かたい材料：1cm角
やわらかい材料：2～3cm角

ボトルに入れられる食材の目安量

- ・材料の量は「ここまで」の線以下目安
- | | |
|-----|--------|
| 肉 | 約 250g |
| 魚 | 約 250g |
| 玉ねぎ | 約 170g |

1 刃をボトルにセットして材料を入れる

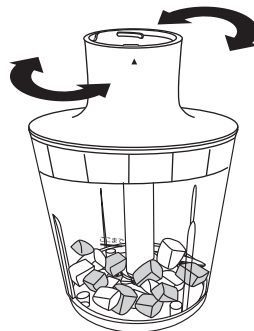
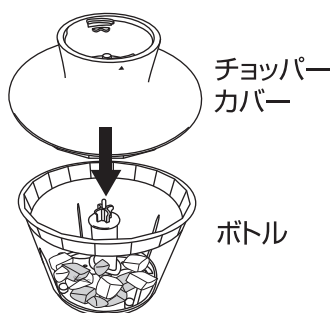
- ①刃をボトルの軸に差し込んでください。
 - ②材料を下ごしらえし(上記参照)、ボトルに入れてください。
- ※チョッパーの刃に触れないように注意してください。



ボトルに入れる食材は「**ここまで**」の線以下にしてください。

2 ボトルにチョッパーカバーをセットする

ボトルにチョッパーカバーをセットします。

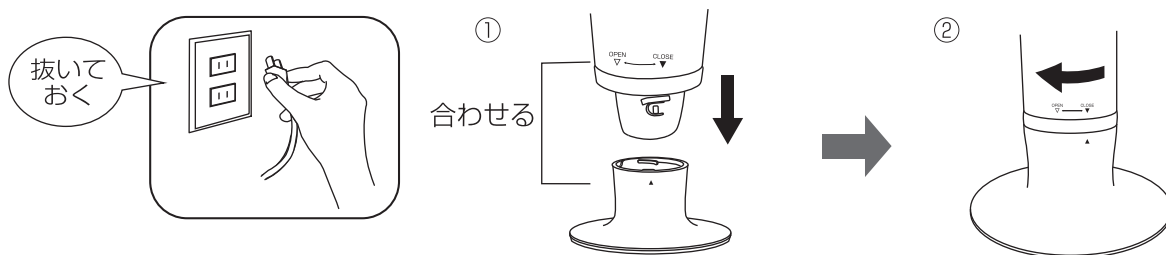


チョッパーカバーが浮いてしまうときは、カバーを少し回してすき間が出来ないようにセットしてください。

3 本体をチョッパーカバーにセットする

※電源プラグがコンセントからはずれていることを確認してからセットしてください。
本体とチョッパーカバーをセットします。

- ①本体の「OPEN▽」とチョッパーカバーの▲を合わせ、
- ②本体を矢印の方向に止まるまで回して取り付けます。本体の「CLOSE▼」とチョッパーカバーの▲が合うまでしっかり回してください。

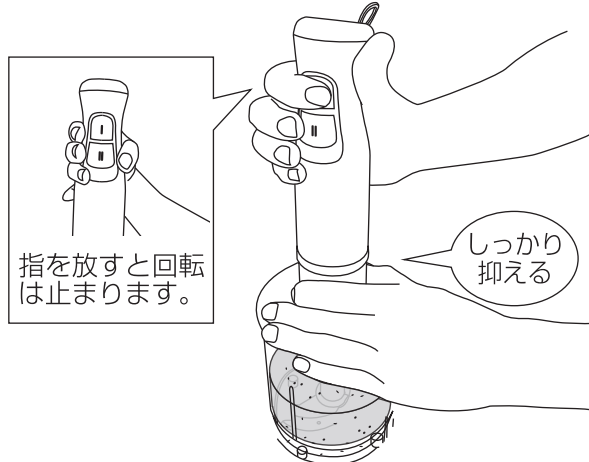


4 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込みます。

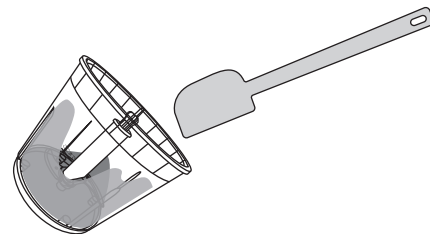
5 スイッチを入れる

チョッパーカバーをしっかり押さえて、通常またはターボスイッチを押します。スイッチを押し続けている間はチョッパーの刃が回転します。ターボスイッチは通常スイッチと同時に押しでも単独でも作動します。材料がお好みの状態になったら、スイッチから指を放してください。回転は止まります。



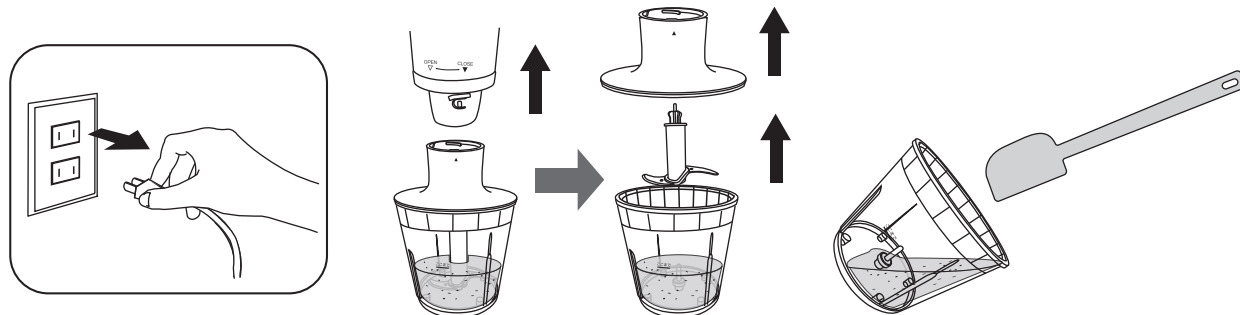
ボトル内側に材料がはりついた場合

刃の回転が止まってから電源プラグを抜いて、チョッパーカバーをはずし、へら等でかき落としてください。



6 電源プラグを抜き、本体をはずし、材料を取り出す

刃の回転が止まったことを確認してから電源プラグをコンセントから抜いてください。
取り付けと逆の手順で本体をチョッパーカバーからはずします。チョッパーボトルをはずし、必ず刃を取りはずしてから、ボトル内の材料を取り出してください。



△ 注意

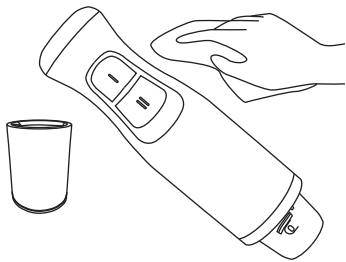
- 刃を取りはずすときは、無理に引っばらないでください。けがや、材料が飛び散るおそれがあります。刃についた材料はへらなどを使って取り除いてください。

お手入れの方法

△ 注意

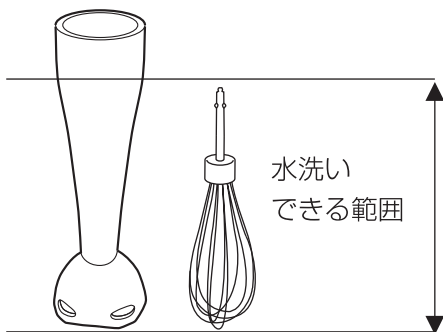
- 必ずコンセントから電源プラグを抜く。
- シンナー、ベンジン、みがき粉、漂白剤、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきんなどは使用しない。損傷、変色の原因となります。
- ブレンダー刃・チョッパー刃に、直接手を触れない。
- 食器洗浄機や食器乾燥機は使用しない。また、40℃以上のお湯を使用しない。
- 洗った後は乾いた布などで拭き取り、よく乾燥させる。さびの原因となります。

～本体・ホイッパー接続部～

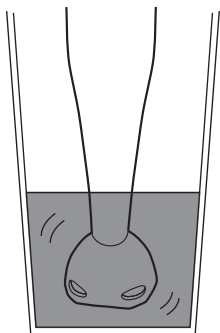


- 水洗いできません。水につけたり、水をかけたりしないでください。故障の原因になります。
1. 湿らせて固くしぼった布で汚れを拭き取ってください。汚れがひどい場合は台所用中性洗剤を少量含ませた布で汚れを拭き取ってください。
 2. 乾いた布などで水分を拭き取り、乾燥させてください。

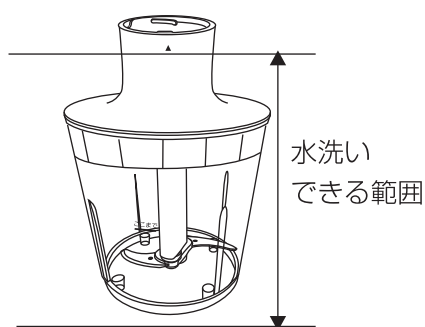
～ブレンダー、ホイッパー～



- ブレンダーの接続部以外は水洗いができます。
 - ブレンダーの刃に注意して洗ってください。
1. スポンジに中性洗剤をつけて洗ってください。
※汚れが落ちにくいときは、専用カップなどにぬるま湯と少量の台所用洗剤を入れて10～20秒ほど運転させてください。
 2. 洗った後は、水かぬるま湯でよくすすぎ、乾いた布などで拭き取り、よく乾燥させてください。
- 接続部
1. 湿らせて固くしぼった布で汚れを拭き取ってください。汚れがひどい場合は台所用中性洗剤を少量含ませた布で汚れを拭き取ってください。
 2. 乾いた布などで水分を拭き取り、乾燥させてください。

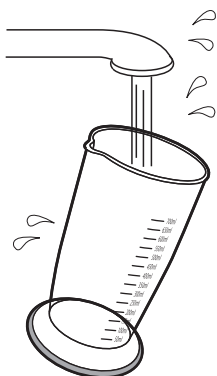


～チョッパー～



- チョッパーカバーの接続部以外は水洗いができます。
- チョッパーの刃に注意して洗ってください。
- 接続部以外
 1. スポンジに中性洗剤をつけて洗ってください。
 2. 洗った後は、水かぬるま湯でよくすすぎ、乾いた布などで水分を拭き取り、よく乾燥させてください。
- 接続部
 1. 湿らせて固くしぼった布で汚れを拭き取ってください。
※汚れがひどい場合は台所用中性洗剤を少量含ませた布で汚れを拭き取ってください。
 2. 乾いた布などで水分を拭き取り、よく乾燥させてください。

～専用カップ～



- 水洗いできます。
 1. スポンジに中性洗剤をつけて洗ってください。
 2. 洗った後は、水かぬるま湯でよくすすぎ、乾いた布などで水分を拭き取り、よく乾燥させてください。

故障かな？と思ったら

ご使用中に異常を感じたときは、ただちにご使用を中止し、以下の点をご確認ください。

こんなときは	原因	対策
回転が遅い 使用中に回転が止まる 振動が大きい	食材の入れ過ぎ、大きすぎ	食材を減らしたり、小さく切り直してください。
	ガード、刃に食材が詰まっている	電源プラグをコンセントから抜き、詰まっている食材を取り除いてください。
本体が異常に熱い	定格時間を超えた使用	定格時間はブレンダー・チョッパー1分、ホイッパー3分です。定格時間内での使用をしてください。連続使用する場合は、一旦運転を停止し、15分以上経って本体が冷めたことを確認のうえ、使用してください。
電源プラグが異常に熱い	コンセントの差し込みがゆるい	コンセントに原因がある場合があります。最寄の電気店にご相談ください。
ボトルから食材があふれる	・材料が多すぎる ・粘り気のある食材を使用している	・材料を減らしてください。 ・粘り気のある食材は使用できません。
煙が出る 電源コードが破損している		ただちに使用を中止して、「お客様相談センター」にご相談ください。

こんなときは	理由
樹脂などのおいがする	使い始めのうちは、樹脂などのおいがすることがありますが、使用上の品質に問題はありません。使用していくうちににおいが少なくなります。
各接続部の内部にオイルがにじんでいる	回転を潤滑にするオイルです。故障ではありませんのでご安心して使用してください。乾いた布でオイルを拭き取ってから使用してください。

長年ご使用いただいている電気製品の点検について

定期的に「安全上のご注意」、「ご使用方法」を確認してください。
誤った使い方、長年のご使用による影響で製品が劣化し、故障や事故につながる場合があります。

お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解・修理・改造はしないでください。

アフターサービスについて

修理やお取り扱いのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1. 製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認の上内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

- 保証期間中でも有料となる場合がありますので、＜保証規定＞をよくお読みください。
- 当社修理技術者以外の方が分解・修理した場合は、保証対象外となります。

2. 修理を依頼される時

「故障かな？と思ったら」をご確認いただいても異常のあるときはご使用を中止し、修理をご依頼ください。

- 保証期間中は、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証書の記載内容にそって修理いたします。
なお、製品修理以外の責任はご容赦ください。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- お買い上げの販売店または、下記「株式会社ドリテック お客様相談センター」までお問い合わせください。

輸入発売元 株式会社 **ドリテック** 〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地2-3-9

お客様相談センター

☎0120-875-019 URL : <http://www.dretec.co.jp>

(受付時間：月～金10：00～12：00、13：00～16：00 祝祭日および当社指定休日を除く)

製品仕様

品番(品名)	HM-804 (クックスティック)		
サイズ(約)	本体+ブレンダーセット時：幅 59×奥行 59×高さ 346 mm		
質量	本体+ブレンダー：約 600g	電源コード長	約 150cm
電源	AC100V 50/60Hz	速度調節	2段スピード
定格消費電力	ブレンダー・チョッパー：150W / ホイッパー：60W ※1		
定格時間	ブレンダー・チョッパー：1分 / ホイッパー：3分		
材質	本体：ABS樹脂 / ブレンダー：ABS樹脂・ステンレス ホイッパー：ステンレス / 専用カップ：AS樹脂・シリコーンゴム チョッパー：ABS樹脂・AS樹脂・ステンレス		
部品/付属品	ブレンダー・専用カップ・チョッパー・ホイッパー / 取扱説明書 各1個		

※1 調理する食材の固さや量等により消費電力は変化します。

※2 製品の仕様は改良などのため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。

本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店へご相談ください。

品番	HM-804		
保証期間	対象部品	お買い上げ日より	保証条件
	本体	1年間	持込修理
お買い上げ日	年 月 日		
お客様	お名前		
	ご住所 お電話		
販売店	販売店名		
	ご住所 お電話		

〈保証規定〉

- 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常なご使用状態で故障した場合には本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - ※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地震等や異常電圧などの外部要因等による故障または損傷。
 - ※ご使用上に生じる外観の変化。
 - ※本書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
 - ※本書のご提示がない場合。
 - ※一般家庭以外（例として、業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 安全上のご注意を守らないことにより損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いません。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますのでご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。

修理メモ

輸入発売元 株式会社 ドリテック 〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地2-3-9

お客様相談センター



0120-875-019 URL : <http://www.dretec.co.jp>

(受付時間：月～金10：00～12：00、13：00～16：00 祝祭日および当社指定休日を除く)